

平成23年度北海道支部運営委員会の開催

船員災害防止協会北海道支部

去る6月8日（水）15時30分から札幌市のKKRホテル札幌において、平成23年度船員災害防止協会北海道支部運営委員会を開催しました。

当日は、札幌地方の気温もうなぎ上りで、久しぶりに夏らしい陽気となり、また、よさこいソーラン祭りの初日で、全国から踊り子たちが札幌入りして街中が活気づいているなか、村上北海道運輸局海上安全環境部長を来賓としてお招きし、全道から委員15名中12名（代理出席を含む。）出席のもと、平成23年度事業計画（案）や予算（案）などについて、ご審議をいただきました。

桜庭支部長が所用により欠席のため、蔦井副支部長に議長を務めていただき、無事、予定の17時00分に委員会を終了しました。

なお、今年度の議題は以下のとおりです。

1. 平成22年度事業報告について
2. 平成22年度決算及び監査報告について
3. 平成23年度事業計画（案）について
4. 平成23年度予算（案）について
5. 船員災害防止協会北海道支部役員等について
6. 船員災害防止協会優良会員について
7. 船員災害防止協会北海道支部規約改正について
8. 平成23年度船員災害防止計画 及び
平成23年度北海道運輸局船員災害防止指導要領について
9. その他



蔦井 副支部長



村上 北海道運輸局海上安全環境部長

◎ 小樽地区安全衛生講習会の開催

小樽地区において、地元の沖合底びき網漁船乗組員及び船舶所有者などを対象に安全衛生講習会を開催しました。

日 時：平成23年6月21日（火）09時00～

場 所：新日本海フェリーターミナルビル 3階マルチホール

主 催：船員災害防止協会北海道支部

参加者：沖合底びき網漁船乗組員及び船舶所有者、関係者 57名

講習会では、主催者を代表して佐藤竹榮小樽地区支部長からの挨拶のあと、お二人の講師をお招きし、北海道運輸局海上安全環境部の野村運航労務監理官から「船員災害の現状について」、小樽市保健所健康増進課の小野理学療法士からは「壮年期における腰痛・ひざ痛・肩こりの予防について」のお話をさせていただきました。

各講師の方からの講話内容は以下のとおりです。

1. 船員災害の現状について

講師：北海道運輸局 海上安全環境部

運航労務監理官 野村 健 氏

- ① 北海道内の災害発生状況を統計で見ると、漁船の発生割合が9割以上を占めており、なかでも沖合底びき網漁船とさんま漁船での災害発生率が高くなっている。
- ② 災害発生率の高い沖合底びき網漁船の作業別発生状況は、荷役作業中と漁ろう作業中における発生率が高く、機械類への「はさまれ」事故や飛来物、落下による怪我が多くなっている。
- ③ 年齢別による災害発生は、50歳以上が全体の約7割を占めており、年齢構成からの高発生率も否定できないが、作業慣れによる災害原因も多いと考えられる。
- ④ 月別による災害発生状況では9月が最も多く、これは休漁明けの出漁開始時に集中しているものと考えられ、出漁前における作業手順の徹底確認、乗組員への安全教育の徹底、漁ろう機械装置の取り扱い確認などが重要である。

運航労務監理官からは、平成19年度から21年度までの3年間における災害発生状況データをもとに、船員災害防止についてのお話を頂いた。

2. 壮年期の腰痛・ひざ痛・肩こりの予防について

講師：小樽市保健所 健康増進課

理学療法士 小野 摩由美 氏

- ① 腰痛を症状とする病気は、椎間板ヘルニアや骨粗しょう症、ぎっくり腰などの整形外科的な病気と腎臓疾患や膵臓疾患などの内科的な病気がある。
腰痛は病気の症状の一つで、きちんと診てもらうことが大切である。
- ② 腰痛体操は、整形外科にかかるような病気になることを予防し、また、腰痛の再発を防ぐことを目的とする体操であるが、原因のわからない腰痛や医師から止められている場合、血圧が高いなどの症状がある場合は、行わない方がよいと思われる。
- ③ 壮年期以降の人におすすめのストレッチングは、反動をつけない静的なストレッチングで、ももの前側や裏側を軽く伸ばし曲げするストレッチングや椅子に腰掛けた状態で行う背筋のストレッチングが効果的である。
- ④ 肩こりを予防するためには、普段からできるだけ正しい姿勢で猫背にならないように気をつけることが必要で、肩すぼめ運動や肩回し、背筋を鍛えることで肩こりを予防することが出来る。
- ⑤ ひざ痛を予防するための運動は、椅子に座った状態での膝のばしや足上げ運動によって筋肉を鍛えることが重要である。
講師からは、実演を交えて各運動の行い方やコツなどについて講演をして頂いた。



安全衛生講習会参加者



野村 健 講師



小野 摩由美 講師